

非石油原料鉢の気候耐性、薬剤耐性の検証

令和5年3月

さいたまの花普及促進協議会

はじめに

世界が脱プラスチックに向かうなかで、現在の鉢物生産はプラスチック鉢に頼らなければならない状況である。非石油原料を用いた鉢は全くないわけではないが、その耐候性や薬剤耐性が不明なため、鉢物の生産には使用されていない。

もみ殻を原料とした鉢について、3か月以上となる栽培期間の耐候性、薬剤耐性を調査し、鉢物生産の脱プラスチックを推進する。

検証1 山あげほ場（高地・露地） 品目：カランコエ

対照区 プラスティック鉢

実証区 エコフォームズ グロワー16A、Urn5.5

検証2 高温期から秋の施設栽培（施設） 品目：プリムラマラコイデス

対照区 4寸黒ポリポット

実証区 エコフォームズ グロワー12

検証3 冬季～春出荷の施設栽培（施設） 品目：マーガレット

対照区 4寸黒ポリポット

実証区 エコフォームズ グロワー12

検証1 山上げほ場（高地・露地） 品目：カラシコエ



山上げほ場の様子



日焼けの跡と思われる白化



プラスチック鉢

もみ殻原料の鉢

栽培概要

挿し木 6月（埼玉県深谷市内施設内）
山上げ 7月～9月（栃木県日光市 露地ほ場）
薬剤散布 週1回 各種殺菌剤、殺虫剤
かん水 頭上かん水

結果

有色の鉢は日焼けと思われる白化が見られた。栽培期間中の破損はなかった。薬剤の跡はなかった。カラシコエの生育はプラスチック鉢と変わらなかった。根の発達により一部の鉢に楕円状のゆがみが見られたが、破損はなかった。



鉢のゆがみ

検証2 高温期から秋の施設栽培（施設） 品目：プリムラマラコイデス



両端は実証区 真ん中は対照区



対照区 黒ポリポット

実証区

栽培概要

鉢上げ 6月20日は種 8月10日鉢上げ 出荷 11月下旬
かん水 手かん水 農薬散布 週1回程度 殺菌剤 殺虫剤

結果

高温期で湿度が高く、鉢の表面にカビ状の汚れができた。濡れた布で拭くとある程度は汚れを取ることができた。鉢土の量については、実証区の鉢は対照区の鉢土の量の77%と少ないが、もみ殻原料の鉢はポットバンドすることなく根鉢が形成されていた。さらに、実証区の地上部は対照区と同程度かより大株となった。

検証3 冬季～春出荷の施設栽培（施設）

品目：マーガレット



左：ポリポット区

右：もみ殻原料鉢区



栽培概要

鉢上げ 11月18日 対照区 4寸黒ポリポット
最低夜温 9℃ かん水 手かん水
薬剤防除 10日に1回程度 殺菌剤、殺虫剤を適宜散布した。
出荷 2月中旬～



結果

もみ殻原料鉢区は、ベンチの内側に向いた部分にカビ様のものが見られた。濡れた布で拭くことである程度除去できた。ポリポット区の根鉢は底から3分の1の部分にポットバンド状になっていた。もみ殻原料鉢区はまんべんなく根が張っていた。また、株の大きさももみ殻原料の鉢が一回り大きく育った。

まとめ

1. 耐候性と強度

(1)雨には問題なく、屋外でも淡色を選べばまったく問題ない。

濃い色の場合は、白く日焼けをする場合がある。

(2)山上げ作業のような移動にも耐える十分な強度がある。

2. 薬剤耐性

花き類に対応した殺菌剤、殺虫剤、矮化剤に関しては問題なく使用が可能である。

3. その他

(1)湿度が高い状況で鉢の周りに黒い汚れが発生する。濡れた布で拭くとふき取りが可能。

(2)根の張りがよく、ポットバンドしにくい。

(3)株はポリポットより大きくなる傾向がある。少ない培地量で株が大きくなる点では、コストパフォーマンスが良い。

実施団体 さいたまの花普及促進協議会
協力機関 埼玉県大里農林振興センター

本マニュアルは農林水産省「ジャパンフラワー強化プロジェクト推進」で実施した実証事業により作成しました。

発行者 さいたまの花普及促進協議会
〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-12-9
TEL：048-711-7166